

麻しん風しん特別接種のお知らせ



この予防接種は、麻しん風しん定期予防接種の接種回数が不足しているお子さんに、八王子市が独自で実施する任意予防接種の費用助成制度です。接種費用は無料です。接種には、事前に保健所健康政策課に申し込みことで発行される「麻しん風しん特別接種申請書」が必要です。

予防接種は、感染症からお子さんを守るために非常に効果が高い手段です。接種を希望する場合は、このお知らせをお読みいただき、必要性をよく理解した上で、お子さんの体調が良い時に予防接種を受けましょう。接種の際は、必ず母子健康手帳を持参しましょう。

【予防する病気の特徴】

●麻しん(はしか)

麻しんウイルスの空気・飛沫感染により発熱、咳、鼻汁、目やに、発疹などの症状が現れます。非常に感染力が強く、3～4日間程度38℃位の熱が続き、一時的に収まりますが、その後39～40℃の高熱と発疹が現れます。高熱は3～4日で解熱し、発疹も徐々に消失しますが、しばらくの間は色素沈着が残ります。また、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすこともあり、わずかですが死亡の報告もあります。

●風しん(三日ばしか)

風しんウイルスの飛沫感染により、軽いカゼ症状で始まり発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などの症状が現れます。これらの症状は3日程度で収まりますので『三日ばしか』とも呼ばれていますが、大人になってからの感染は重症化しやすく、長期化することも少なくありません。また、妊婦(妊娠早期)が感染すると、『先天性風しん症候群』による先天性心疾患、白内障、聴力障害などを持った赤ちゃんが生まれる確率が高くなります。

※麻しん・風しんのいずれか一方に罹患したお子さんはこのワクチンを接種することができますが、麻しん・風しんの両方に罹患したお子さんは、接種する必要がありません。

【ワクチンの効果】 ●麻しん(はしか)・風しん(三日ばしか)

麻しん・風しんの特別な治療法はなく、つらい症状を軽減するための処置(対症療法)が行われ、合併症があればそれに応じた治療が行われます。現段階では、麻しん・風しんの感染に有効な予防手段は、ワクチンの接種しかないと言われていています。2回の接種により、1回目の接種の免疫が、時間の経過とともに減衰したところに刺激を与え、より強い免疫を得ることができます。

また、1回目でも免疫を得ることができなかったお子さん(全体の数%と言われていています。)にも、免疫を得ることができます。

【対象期間】 平成30年4月1日～平成31年3月31日

【対象者】 19歳未満(19歳の誕生日の前日まで)で、麻しん風しん混合又は麻しん単独・風しん単独定期予防接種を受けられなかった方。

【接種することができる医療機関】

八王子市内の個別予防接種実施医療機関(定期に○)へ電話で予約し、接種を受けてください。

特別な事情により市外の医療機関での接種を希望する場合、事前の手続きが必要ですので保健所健康政策課へお問い合わせください。町田市、日野市、多摩市、稲城市の医療機関での接種を希望する場合も事前の手続きが必要です。

【複数のワクチンの同時接種】

複数のワクチンの同時接種については、医師が判断します。必要性や効果の説明を十分に受け、保護者の同意の上接種してください。

【接種する日の持ち物】 ●母子健康手帳 ●麻しん風しん特別接種申請書 ●健康保険証(医療証)

【保護者の同伴】

接種日当日は、保護者の同伴が原則です。予診票には保護者が責任を持って記入・署名してください。止むを得ず保護者以外(祖父母等の家族)が同伴する場合には、委任状が必要です。事前に保健所健康政策課へご連絡ください。

【予防接種の受け方】

●接種前

- ① 接種を受けようとする実施医療機関へ予約をしてください。
※接種日当日に八王子市に住民登録がある方が対象です。
- ② 接種日前日は入浴し、当日は健康状態を確認し清潔な衣服を着用してください。



●接種後

- ① 母子健康手帳に記入された接種の記録の確認をしてください。
- ② 接種後30分程度は医療機関でお子さんの様子を観察するか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。
- ③ 接種した部分は軽く押さえる程度にしてください。もむ必要はありません。
- ④ 接種当日は激しい運動を控えてください。入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすらないでください。

【接種することができないお子さん】

- ① 発熱している。※37.5℃以上は接種できません。
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかである。
- ③ 麻しん（はしか）、風しん、水痘（みずぼうそう）またはおたふくかぜにかかり、治ってから4週間が経過していない、もしくはこれらに感染している確率が高い。
- ④ 生ワクチンを接種してから中27日以上経過していない。※4週間後の同じ曜日から接種可能（水痘（みずぼうそう）やおたふくかぜなど。）
- ⑤ 不活化ワクチンを接種してから中6日以上が経過していない。※1週間後の同じ曜日から接種可能（日本脳炎、インフルエンザなど。）
- ⑥ 以前に、接種液の成分でアナフィラキシー（注）を起こしたことがある。
- ⑦ 医師が適当でないと判断した。
※①～⑤に該当する場合は、医療機関に行かずに予約の変更（延期）をしてください。

【医師と相談が必要なお子さん】

- ① 心臓血管系、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患がある。
- ② 過去の予防接種で2日以内に発熱や全身性発疹などのアレルギーを疑う症状が出たことがある。
- ③ 接種液の成分に対してアレルギーを起こす恐れがある。
- ④ 今までにけいれんの症状を起こしたことがある。
- ⑤ 今までに免疫不全の診断がされている場合や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる。
- ⑥ 輸血やガンマグロブリンの注射を受けて3か月が経過していない。
※ガンマグロブリンの大量投与を受けた場合には6か月

【女性の方への注意事項】

妊娠している、もしくはその可能性があるお子さんは、この予防接種を受けることができません。出産後、又は妊娠していないことが確認された後、接種を受けてください。なお、接種後2か月間は妊娠を避けることが必要です。

【副反応と健康被害救済制度】

接種後の副反応は、全身反応として発熱と発疹があり、これは接種後4週間くらいまであらわれることがあります。局所反応としては接種した部位の赤み、腫れ、しこり等があります。

非常にまれですが、アナフィラキシー（注）などの重大な副反応があるといわれています。

通常反応のほか何らかの異常（けいれん・高熱など）が強く出た場合には、速やかに医師の診察を受け保健所健康政策課へ連絡してください。

八王子市独自の制度の任意予防接種であるため、万が一、この予防接種を受けて重篤な健康被害が発生し認定された場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法の規定に基づき、健康被害に対する給付が行われます。

（注）アナフィラキシー：通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと。顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出る、息が苦しい、嘔吐などの症状やショック状態になるような、激しい全身反応のこと。